

2023年度 事業計画書
(2023年4月1日～2024年3月31日)

公益財団法人アサヒグループ財団

2023年度 事業計画書

芸術文化活動としては、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営の文化事業を中心に活動していく。同美術館は、常設展・企画展・地域貢献活動・教育普及活動等を通して、楽しい生活文化の創造を提案し続けることで文化及び芸術の振興に寄与していく。

助成事業については、前年まで実施していた公募型助成の公募は廃止し、美術館運営事業と関連性の高い「日本伝統工芸展」など伝統工芸の技術の保存と活用、伝統文化向上に寄与する活動に対して助成を継続する。

合併により事業を承継する学術研究助成は、専門性の高い学術研究に対する助成活動を行ない、対象とする研究分野の学界、研究者への一助とするために事業活動を展開し、知の創造と発展に向けた支援を行う。

また、2022年度の助成先による研究結果の報告会は、被合併財団から引継ぎ、実開催とオンライン開催を併用したハイブリット開催を予定する。選考委員の先生方をはじめ、役員、アサヒグループ参加者の意見交換の場とし、それらを踏まえて最終報告を研究紀要としてとりまとめ、財団Webサイトで広く発信する。

主たる事業の計画

1. 学術研究活動への助成

アサヒグループ学術振興財団における助成応募、選考委員会を経て、理事会（2023年3月1日）に承認された学術研究に対して助成を行う。

「食・生活部門」と「環境・サステナビリティ部門」の2部門について、総計73件の応募案件から選考した17件に対して総額1,600万円の助成を実施する計画。

2. 助成研究のサポート、社会発信

助成先の研究者の結果発表を控えた段階で、財団選考委員を中心に、対象分野の研究者に参加を求めて、研究結果報告、意見交換の場を提供する。様々な視点からの助言にもとづき研究成果をブラッシュアップするとともに、理解しやすい内容にまとめ、研究結果は「研究紀要」として記録し、財団Webサイトで広く社会に発信する。

また、関係団体と連携した講演・シンポジウム等の開催を検討・実施する。

3. 学術顕彰事業

アサヒグループ学術振興財団において、2022年度より再開した顕彰事業を2023年度以降も継続して実施する。昨年8月下旬より、対象者（過去5年研究助成授与者110名）に対して募集要項を送付し、9月1日～30日の間で申請を募った。結果、6名の申請を受理し、選考委員会、理事会（2023年1月25日）の承認を経て、本年4月に1名の研究者を対象に授賞式を実施する。

研究賞受賞者には、記念講演の実施を依頼し、内容は一定期間財団WEBサイトで広く発信する。

また、本年度以降も顕彰を継続し、学術研究の発展と、助成授与者がより意義の高い研究成果を上げることに貢献する。

4. 芸術文化活動への助成支援

1) 「日本伝統工芸展」をはじめとする日本工芸会の活動への助成

伝統工芸の技術の保存と活用、伝統文化向上に寄与する目的で開催されており2008年から助成をしている。

具体的には、「日本伝統工芸展」を中心とする公益目的事業の活動費として、50万円の助成を実施する計画である。

助成を通じて得られた知見や、主催者である公益社団法人日本工芸会との人脈を、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営に活かしている。

2) 講演の開催

芸術文化活動の支援振興のため、日本工芸会の所属作家による講演を開催し、日本の伝統美に関する社会への発信を行う。

5. アサヒビール大山崎山荘美術館の運営

アサヒビール大山崎山荘美術館は、常設展・企画展・地域貢献活動・教育普及活動等を通して、楽しい生活文化の創造を提案し続ける。

7月1日付で、館名を「アサヒグループ大山崎山荘美術館」に変更し、一層社会に開かれた美術館を目指す。同時に入館料の改定を行う。

運営にあたっては、以下5つの施策を柱とする。

1) 展示：

当館の資産である所蔵品コレクションを最大限活用しながら、テーマ性・ストーリーを持った常設展・企画展を実施する。

【2023年度展覧会概要】

① 「没後 40 年 黒田辰秋展 — 山本爲三郎コレクションより」

2023年1月21日（土）～2023年5月7日（日）

没後40年を迎える黒田辰秋に焦点を当てた展覧会を開催する。本展ではとりわけ、ゆるぎない基礎が確立した20代前半の凝縮された時期に焦点を当てる。

山本家から当館に寄贈され、開館以来当館所蔵品の軸となっている三國莊ゆかりの山本爲三郎コレクションを中心に所蔵品を一挙に公開、黎明期からその後の展開にも触れながら名匠黒田辰秋の創作の原点に迫る。

② 「受贈記念 没後10年 船木倭帆展」

2023年7月15日（土）～2023年12月3日（日）

2021年2月、船木作品105件の寄贈を受けたことを記念し、船木の没後10年を迎える節目の年に展覧会を開催する。船木が生涯手掛けたのは暮らしの中で活躍するうつわだった。デザインから仕上げまで一貫制作の手仕事によって生み出されたうつわはいずれも、ガラスという素材でありながら用いかなう堅牢さとやわらかな温もりをあわせもつ。

本展では、没後10年が経過する現在もなお、私たちに魅了しつづける船木倭帆作品の数々を一挙に公開する。

③ 「藤田嗣治展-手紙の森へ(仮)」

2023年12月16日（土）～2024年2月25日（日）

1920年代のパリを拠点に、独自の個性と画風を確立し人気を博した最初の日本画家・藤田嗣治（1886-1968）は、その没後半世紀を経て、新たな角度のアプローチによる研究が進んでいる。

本展は、藤田が書いた手紙を縦軸、手紙と同時代の絵画作品や旅先での収集品、アルバム、日々の暮らしのために藤田が好んで自作した品などを横軸にテーマを織りなし、紹介するもの。藤田の隠された小さく親密な世界から、画家が生きた時代をひも解き、彼の多面性の理解に繋がることを期待する。

④ 「加賀没後70年 蘭花譜展(仮)」

2024年3月9日（土）～5月19日（日）

大山崎山荘を設計した加賀正太郎（1888-1954）の没後70年を記念し、加賀が自ら育てた蘭をモチーフとし、1946年に監修・制作した植物図譜『蘭花譜』を紹介する展覧会を開催する。『蘭花譜』のうち、とりわけ木版画は浮世絵の技法が用いられ、その美しい色彩や正確な生態模写が美術的、学術的にも高く評価されている。

本展では、木版画83点、カラー図版14点、単色写真図版7点、あわせて全104点を一挙に公開し、加賀正太郎が情熱を傾けた『蘭花譜』の全貌に迫る。

- 2) 保管：
山本為三郎コレクション、アサヒグループ所有コレクションを中心とした当館所蔵品を公共の財産として未来につないでいく。
- 3) 調査・研究：
民藝運動ゆかりの作品等の当館所蔵品の調査研究をさらに進める。
- 4) 地域貢献：
 - ・地域社会の創造性を高める拠点として、特に京都乙訓地区の児童の教育普及活動を行う。
 - ・地域活性のプラットフォームとしての役割を果たす。地域の国宝・文化財施設、および京都府とのネットワークを強化し、観光客誘引の中心的役割を果たす。
- 5) リスクマネジメント：
自然・人為災害、業務妨害に対する対応策の総点検と訓練を実施する。

【活動のポイント】

- 接遇クオリティの向上
受付・喫茶・館内案内・送迎サービス・問い合わせ対応等、接遇のクオリティを向上させる。
- 施設整備
お客様の安心・安全、所蔵品の保存、お客様の満足度向上のための施設整備を行う。
- 存在感を訴求する情報発信
マスコミ・京都府・大山崎町との関係づくり・連携を強化すると共に、デジタル広報を強化し情報発信力を向上させる。
アサヒグループ本社と連携し、新たな価値創造・発信を検討する。

主たる事業の予定

2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)

年	月	日	項目	摘要
2023			大山崎山荘美術館企画展	「没後40年 黒田辰秋展」(～5月7日)
	4	12	研究助成授与式 研究賞授賞式	・2023年度助成先研究者を対象に開催 ・2023年度受賞者を対象に開催
	6	上旬	理事会	・2022年度事業報告、計算書類等承認の件
	6	下旬	定時評議員会	・2022年度事業報告の報告、計算書類等承認の件
	6	下旬	講演開催	日本工芸会との共催
	7	15	大山崎山荘美術館企画展	「受贈記念 没後10年 船木倭帆展」 (～12月3日)
	9	1	研究賞の公募開始	募集期間：～9月30日
	9		日本工芸会への助成	
	10	下旬	研究結果報告会	2022年度学術研究助成の報告 各部門ごとに開催
	11	1	学術研究助成公募	募集期間：～11月30日
	12	16	大山崎山荘美術館企画展	「藤田嗣治展―手紙の森へ」(仮) (～2月25日)
	12	中旬	研究賞の選考委員会	
2024	2	上旬	助成選考委員会	各部門ごと実施
	3	9	大山崎山荘美術館企画展	「加賀正太郎没後70年 蘭花譜展」 (～5月19日)
	3	上旬	理事会	・2024年度事業計画・収支予算の承認の件

以上

収 支 予 算 書 (合併後アサヒグループ財団)

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益財団法人アサヒグループ財団

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計 (管理費)	内部取引消去	合計
	公1 助成事業	公2 美術館事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益					6,470,000		6,470,000
基本財産受取利息					6,470,000		6,470,000
特定財産運用益	790,000			790,000			790,000
特定財産受取利息	790,000			790,000			790,000
受取寄付金	27,906,226	120,000,000		147,906,226	19,093,774		167,000,000
受取寄付金	27,906,226	120,000,000		147,906,226	19,093,774		167,000,000
事業収益		114,530,000		114,530,000			114,530,000
入館料収益		63,210,000		63,210,000			63,210,000
物品販売収益		23,960,000		23,960,000			23,960,000
喫茶収益		27,360,000		27,360,000			27,360,000
雑収益							0
雑収益							0
経常収益計	28,696,226	234,530,000	0	263,226,226	25,563,774	0	288,790,000
(2) 経常費用							
活動助成金	16,800,000	0		16,800,000	0		16,800,000
役員報酬	1,800,000	2,800,000		4,600,000	3,370,321		7,970,321
給料手当	3,185,179	68,670,000		71,855,179	6,353,500		78,208,679
法定福利費	894,000	10,480,000		11,374,000	894,000		12,268,000
福利厚生費	50,000	250,000		300,000	53,000		353,000
会議費	140,000	100,000		240,000	260,000		500,000
旅費交通費	560,000	480,000		1,040,000	690,000		1,730,000
バス運行費	0	6,370,000		6,370,000	0		6,370,000
通信運搬費	0	1,650,000		1,650,000	32,000		1,682,000
減価償却費	704,000	320,000		1,024,000	0		1,024,000
消耗品費	20,000	2,600,000		2,620,000	20,000		2,640,000
修繕費	0	660,000		660,000	0		660,000
印刷製本費	800,000	400,000		1,200,000	100,000		1,300,000
水道光熱費	0	22,500,000		22,500,000	144,000		22,644,000
家賃	1,091,347	0		1,091,347	1,091,348		2,182,695
設備賃借料	0	26,670,000		26,670,000	0		26,670,000
保険料	0	550,000		550,000	0		550,000
諸謝金	1,100,000	0		1,100,000	0		1,100,000
租税公課	0	3,000,000		3,000,000	0		3,000,000
業務委託費	938,600	4,610,000		5,548,600	3,881,400		9,430,000
警備費	0	2,900,000		2,900,000	0		2,900,000
物品販売原価	0	16,720,000		16,720,000	0		16,720,000
喫茶店仕入原価	0	10,980,000		10,980,000	0		10,980,000
企画展費	0	42,000,000		42,000,000	0		42,000,000
広告宣伝費	0	320,000		320,000	0		320,000
雑費	613,100	9,500,000		10,113,100	8,674,205		18,787,305
経常費用計	28,696,226	234,530,000	0	263,226,226	25,563,774	0	288,790,000
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高							1,061,567,031
一般正味財産期末残高							1,061,567,031
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高							287,190,000
指定正味財産期末残高							287,190,000
III 正味財産期末残高							1,348,757,031

* 「資金調達の見込みについて」

該当ありません。

* 「設備投資の見込みについて」

該当ありません。

収 支 予 算 書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益財団法人アサヒグループ財団

	2023年度予算	2022年予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,470,000	2,270,000	4,200,000
基本財産受取利息	6,470,000	2,270,000	4,200,000
特定財産運用益	790,000		790,000
特定財産受取利息	790,000		790,000
受取寄付金	167,000,000	140,000,000	27,000,000
受取寄付金	167,000,000	140,000,000	27,000,000
事業収益	114,530,000	79,500,000	35,030,000
入館料収益	63,210,000	46,800,000	16,410,000
物品販売収益	23,960,000	13,300,000	10,660,000
喫茶収益	27,360,000	19,400,000	7,960,000
雑収益			
雑収益			
経常収益計	288,790,000	221,770,000	67,020,000
(2) 経常費用			
事業費			
芸術活動助成金	16,800,000	2,000,000	14,800,000
役員報酬	4,600,000	1,500,000	3,100,000
給料手当	71,855,179	76,440,000	△ 4,584,821
法定福利費	11,374,000	10,225,000	1,149,000
福利厚生費	300,000	500,000	△ 200,000
会議費	240,000	220,000	20,000
旅費交通費	1,040,000	290,000	750,000
バス運行費	6,370,000	6,280,000	90,000
通信運搬費	1,650,000	1,650,000	0
減価償却費	1,024,000	682,000	342,000
消耗品費	2,620,000	2,880,000	△ 260,000
修繕費	660,000	600,000	60,000
印刷製本費	1,200,000	400,000	800,000
水道光熱費	22,500,000	13,650,000	8,850,000
家賃	1,091,347	540,000	551,347
設備賃借料	26,670,000	26,670,000	0
保険料	550,000	900,000	△ 350,000
諸謝金	1,100,000	0	1,100,000
租税公課	3,000,000	3,000,000	0
業務委託費	5,548,600	4,580,000	968,600
警備費	2,900,000	2,640,000	260,000
物品販売原価	16,720,000	7,790,000	8,930,000
喫茶店仕入原価	10,980,000	7,920,000	3,060,000
企画展費	42,000,000	32,000,000	10,000,000
広告宣伝費	320,000	1,060,000	△ 740,000
雑費	10,113,100	3,950,000	6,163,100
事業費計	263,226,226	208,367,000	54,859,226

	2023年度予算	2022年予算	増減
管理費			0
役員報酬	3,370,321	2,050,000	1,320,321
給料手当	6,353,500	3,250,000	3,103,500
法定福利費	894,000	425,000	469,000
福利厚生費	53,000	50,000	3,000
会議費	260,000	100,000	160,000
旅費交通費	690,000	500,000	190,000
通信運搬費	32,000	20,000	12,000
消耗品費	20,000	20,000	0
印刷製本費	100,000	100,000	0
水道光熱費	144,000	144,000	0
家賃	1,091,348	540,000	551,348
業務委託費	3,881,400	2,500,000	1,381,400
雑費	8,674,205	274,000	8,400,205
管理費計	25,563,774	9,973,000	15,590,774
經常費用計	288,790,000	218,340,000	70,450,000
当期經常増減額	0	3,430,000	△ 3,430,000
2. 經常外増減の部			0
(1) 經常外収益			0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	3,430,000	△ 3,430,000
一般正味財産期首残高	429,006,286	419,154,940	9,851,346
一般正味財産期末残高	429,006,286	422,584,940	6,421,346
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	287,190,000	287,190,000	0
指定正味財産期末残高	287,190,000	287,190,000	0
III 正味財産期末残高	716,196,286	709,774,940	6,421,346